



③ 県と公社等の関係見直し	人的支援見直し	・県職員の役員就任・派遣の見直し	(計画) 県退職者の活用や県による人的支援の適切な確保を図る。 (実績) 県の職員派遣が非常に厳しい状況にあったため、再任用職員等の活用を図った。	(計画) 道路工事施工は高度な専門性を要することから、県の技術職員の派遣を前提としながら、適切な組織体制及び職員数を確保し、効率的な業務執行を行う。 (実績) 事業量の増加及び高度な専門性が必要となったことから、県派遣技術職員を2名増員した。	(計画) 高度な専門性を必要とする橋梁の耐震化対策を着実に推進するため、県派遣技術職員の配置を前提としながら、適切な組織体制及び職員数を確保し、効率的な業務執行を行う。
	財政支出見直し				
④ 情報公開推進		・ホームページでの情報公開の充実	(計画) ホームページの適宜更新に努める。 (実績) ホームページの適宜更新に努めた。	(計画) ホームページの適宜更新に努める。 (実績) ホームページの適宜更新に努めるとともに、SNS(Twitter)を活用したタイムリーな道路情報の発信を行った。	(計画) ホームページの適宜更新、SNS(Twitter)を活用したタイムリーな道路情報の発信に努める。

	(人)	令和2年度				令和3年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	4	1	2	1	5	1	3	1
	常勤	3	1	2	0	4	1	3	0
	非常勤	1	0	0	1	1	0	0	1
	職員数	13	4	7	2	11	4	5	2
財政支出等	(千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	(千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	県委託料	0	0	0	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	0	0	0	
その他の県からの支援等									

主な県財政支出の内容	事業名	事業内容	令和2年度	令和3年度	種別
			決算額(千円)	予算額(千円)	
①					
②					
③					
④					
⑤					

実施事業	① 一ツ葉有料道路の維持、修繕及び管理 ② 一ツ葉有料道路北線の休憩所の管理 ③ 自動車駐車場(31台)の管理						
	指標名	算式(単位)	令和2年度			令和3年度	令和4年度
活動指標			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
	① 一ツ葉有料道路利用台数	年間の延べ通行台数(千台)	6,812	6,595	96.8%	6,793	6,775
	② 有料道路回数券販売活動	年間販売額(千円)	224,642	268,246	119.4%	296,574	295,776
	③						
指標の設定に関する留意事項	活動指標②の令和3年度以降の目標値については、令和2年度の回数券販売額実績値に基づいて上方修正を行った。						

	収支計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)			
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
収入 A	1,206,955	1,188,064	841,944	資産 A	21,113,547	21,696,816	21,789,322
事業収入	1,206,454	1,187,495	831,428	流動資産	3,597,030	4,182,870	4,139,547
補助金等収入	0	0	0	固定資産	17,516,517	17,513,945	17,649,775
上記以外の収入	501	569	10,516	負債 B	18,126,547	18,709,816	18,802,322
支出 B	1,206,955	1,188,064	841,944	流動負債	88,397	164,103	51,749
事業費	429,649	533,115	496,987	固定負債	18,038,150	18,545,713	18,750,574
管理費	139,269	143,093	133,587	正味財産 A-B	2,987,000	2,987,000	2,987,000
その他の支出	638,037	511,857	211,371	うち基本金	2,987,000	2,987,000	2,987,000
当期収支差額 A-B	0	0	0	うち当期正味財産増減額	0	0	0

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名	算式 (単位)	令和2年度			令和3年度	令和4年度
			目標値	実績値	達成度 (%)	目標値	目標値
①	道路料金収入	(千円)	932,126	829,290	89.0%	929,699	927,199
	※ 令和2年度 実績値の算式						
②							
③							
指標の設定に関する留意事項							

直近の県監査の状況	令和2年度財政援助団体等監査(令和2年10月27日)を受けた結果、指摘事項等は無かった。
-----------	--

総合評価	<p>公社等自己評価</p> <p>改革工程は、佐土原跨線橋耐震化工事の着手等の橋梁耐震化、津波避難誘導対策に取り組む等、概ね良好に推移している。  活動内容については、新型コロナウイルス感染症等の影響により、活動指標の通行台数は達成度96.8%と目標を下回った。一方、回数券販売額は達成度119.4%と目標を上回った。  財務内容についても、同様の影響により、道路料金収入が目標値を下回った。前年度比較で減収ではあるものの資産状況や資金繰りを含めた財政基盤は安定している。  組織運営については、道路課を1班から2班にし総務課を2班から1班に変更する組織再編、県派遣職員の配置を行い適切な業務執行体制の維持を図ることができた。  今後も、公社事業に影響する外部環境の変化に注視しながら、道路料金収入の確保及び経費削減を図る。併せて、橋梁耐震化や津波避難誘導対策を計画的に取り組むとともに快適な道路の維持管理に努めていく。</p>	<p>県所管部課二次評価</p> <p>令和2年度は、コロナ禍の影響により道路利用台数及び道路料金収入が目標値を達成できなかったが、引き続き、道路料金収入の確保や経費節減に取り組み、経営基盤の強化を図るなど、県出資金の早期償還に努める必要がある。  さらに、国土強靱化の観点から県民の生命・安全・安心な暮らしを守るため、道路等の計画的な補修、橋梁の耐震対策及び津波避難誘導対策を着実に推進していく必要がある。</p>
	<p>評価 (A:良好, B:ほぼ良好, C:やや課題あり, D:課題多い)</p> <p>改革工程 A 活動内容 A 財務内容 A 組織運営 B</p>	<p>評価 (A:良好, B:ほぼ良好, C:やや課題あり, D:課題多い)</p> <p>改革工程 A 活動内容 A 財務内容 A 組織運営 B</p>
	<p>目標達成度</p>	<p>公社等改革推進委員会三次評価</p> <p>活動内容については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響により、一ツ葉有料道路利用台数が目標に達成していないもののおおむね達成しており、一定の評価ができる。  財務内容については、目標値に達成していないものの、費用の削減に取り組むとともに、償還準備金繰入を行っており、評価できる。  引き続き、道路等の補修や橋梁の耐震対策に計画的に取り組むとともに、料金収入の確保や経営削減等による経営基盤の強化に取り組む必要がある。</p>